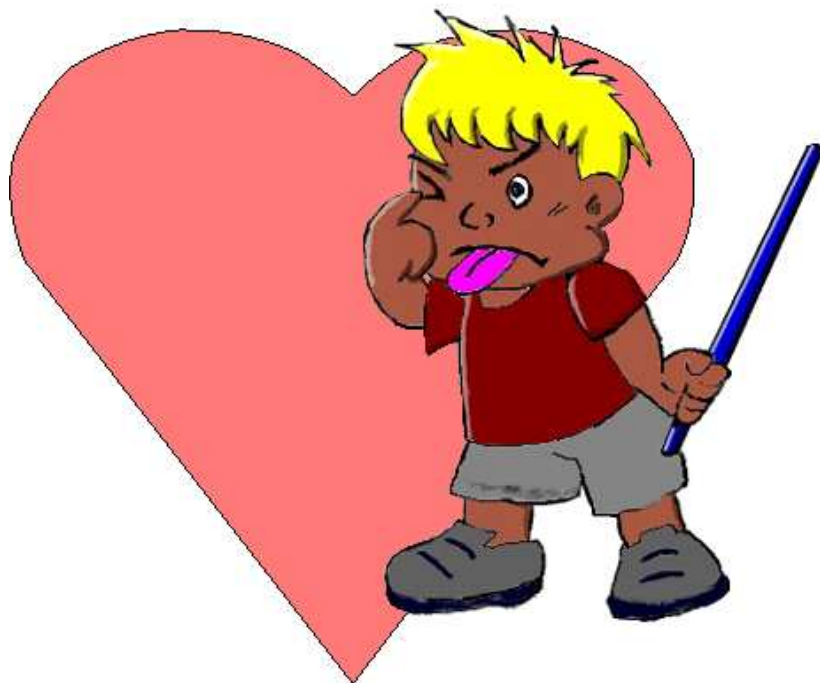


あい てき  
愛と敵



とうごう じゅん

でき あい かんたん だれ でき  
敵を愛することは簡単です。誰にでも、出来るんですよ。

え？ うそ  
嘘だろうって？

なら、ちょっと想像してみましようか。

さあ、敵<sup>てき</sup>のために、プレゼント<sup>ようい</sup>を用意<sup>そうぞう</sup>したと想像<sup>かし</sup>してください。お菓子<sup>か</sup>を買<sup>はこ</sup>って、箱<sup>い</sup>に入れてリボン<sup>い</sup>をかけて。



そして、あなたの敵てきのところに持もっていきます。

ぼくは君きみのことを愛あいしているんだ。  
だからプレゼントをあげるよ。



ね、敵<sup>てき</sup>を愛<sup>あい</sup>すのって、簡単<sup>かんたん</sup>だったでしょう？ 必要<sup>ひつよう</sup>だったのは、ほんのわずかな<sup>かね</sup>お金<sup>かね</sup>だけ。

でもね、敵<sup>てき</sup>だと思っている人<sup>ひと</sup>から愛<sup>あい</sup>を受け取ることは、とっても難<sup>むずか</sup>しいのです。一え？ 愛<sup>あい</sup>されることこそ、簡単<sup>かんたん</sup>だろ  
うって？

とんでもありません！！ …ちょっと想像<sup>そうぞう</sup>してみましようか。

今度は、あなたが敵だと思っている人から、プレゼントを貰ったとしますね。

おれ  
俺はお前を愛している。

これがその証拠のプレゼントだ。やるよ。



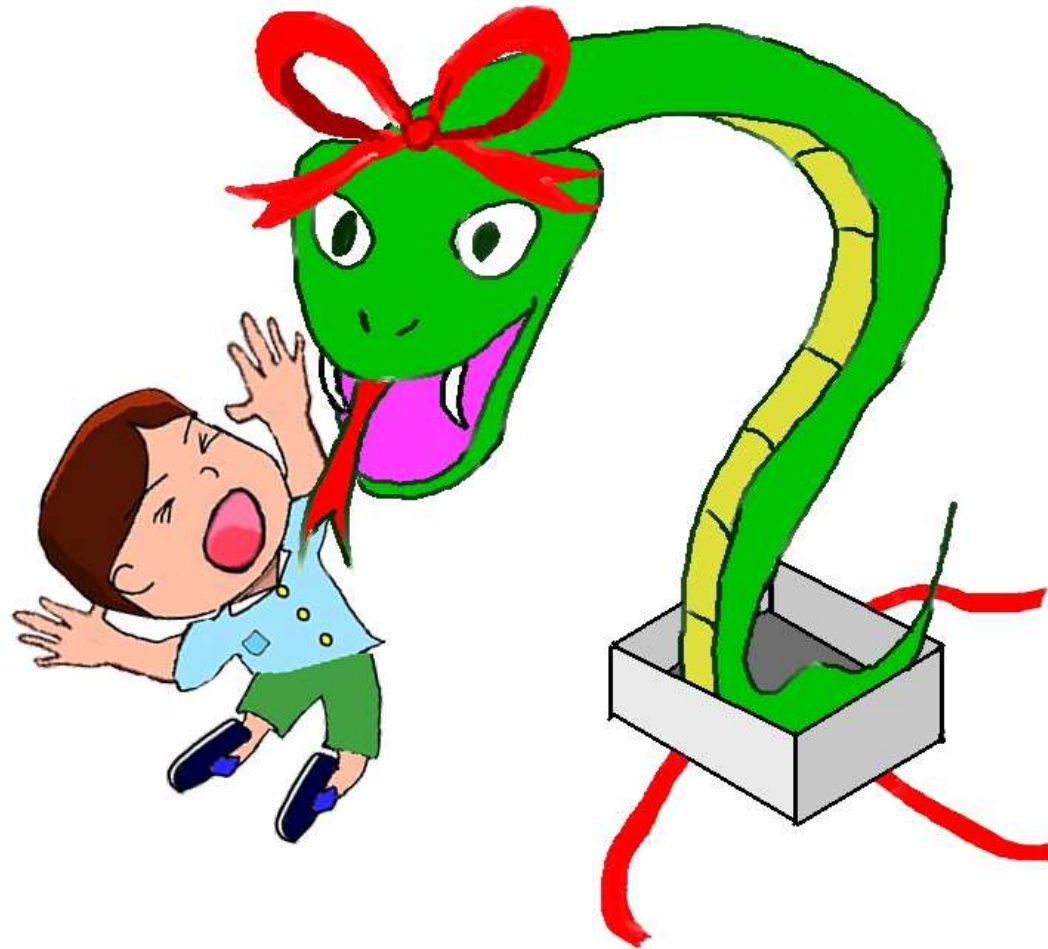
さあ、<sup>てき</sup>敵からのプレゼントです。<sup>はこ</sup>箱の中には、<sup>なに</sup>何が入っているでしょう？

<sup>ぼくだん</sup>爆弾でしょうか？ ……もしそうなら、<sup>はこ</sup>箱を<sup>あ</sup>空けたら<sup>ぼくはつ</sup>爆発するかも。



それとも、<sup>どくへび</sup>毒蛇？

はこ<sup>あ</sup>箱を空けたら、<sup>かみつ</sup>噛付かれるかも。



それとも、ばい菌<sup>きん</sup>？

はこ<sup>あ</sup>箱を空けたら、伝染病<sup>でんせんびょう</sup>になるのかも。



いらないよ



どうしたんだい？

さあ、これは美味しいチョコレートだよ。もらっておくれ



むろん、敵が好きなものをくれるはずがありません！ もし、本当にチョコレートなら、毒入りに決まっています！！

いやだ！！ ぼくはまだ死しにたくない！！

おれさま  
俺様からのプレゼントだぞ！ 受け取れ！  
うと



いや  
嫌だあ————！！

ぼく  
僕はまだ死にたくないんだ。

たす  
助けてくれ————！！

これは本物のチョコレートだぞ！

受け取れ！ こら、受け取れ！！

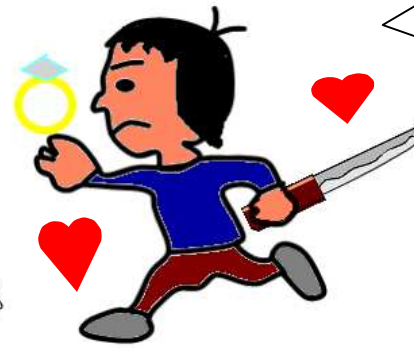
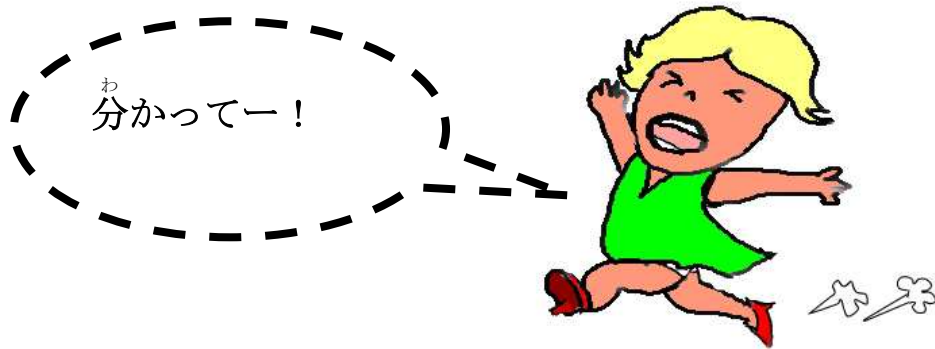


ね、もう分わかったでしょう？ 愛あいすることはとっても簡単かんたん。

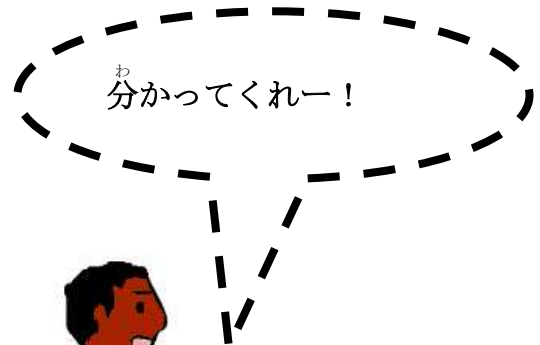
敵てきですら簡単かんたんに愛あいせるんです。

でも・・・、愛あいを受け取うることは、命いのちがけ！

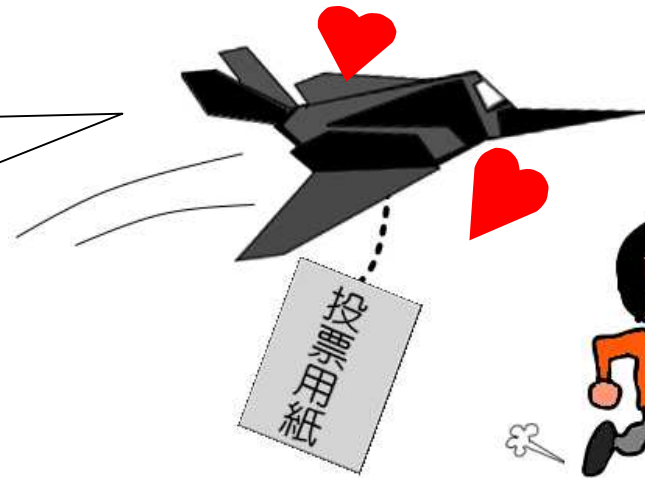
だから、わかって！



ほんもの ゆびわ  
本物のダイヤの指輪だぞ  
  
おれ あい わ  
俺の愛を分かってくれー！



まえ みんしゅしゅぎ  
お前たちのための民主主義だぞ  
  
なんでそれが分らないんだ！？



## あとがき

必要な理解を伴わず、ただ愛することの大切さばかりを強調することは、一とても悲しいことですが、本来は自然な感情であった愛を著しく歪めてしまう危険があります。

そして歪んだ「愛」は直接・間接に、いじめ、家庭内暴力、ストーカー・サディズムなどの性犯罪、さらには人種差別、戦争など様々な悲劇を引き起こす可能性があると考えられます。

本絵本は、そうした悲劇を地球上から無くすことを目的に執筆したものです。もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

[www.jl5.org](http://www.jl5.org)

©Jun Togo 2005